

平成27年度 学力向上検証委員会のまとめ

1 目的

とちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）を検証し、今後の学力向上に関わる施策等について意見を述べ、県教育委員会が実施する学力向上対策の改善に資する。

2 期 日

- ・第1回 平成27年9月11日（金）
- ・第2回 平成27年11月4日（水）、平成27年11月18日（水）
- ・第3回 平成28年2月3日（水）

3 会 場

県庁舎昭和館4階多目的室4、小山市立豊田北小学校、那須塩原市立西那須野中学校

4 学力向上検証委員

9名（大学教授、県小学校長会代表、県中学校長会代表、県高等学校長会代表、県小学校教育研究会代表、県中学校教育研究会代表、都市教育長協議会代表、町村教育委員会教育長会代表、県PTA連合会代表、総合教育センター所長、教育事務所長会代表）

5 主な意見

(1) 学力向上アドバイザー支援状況等について

- 訪問した小学校では、先生方が学力向上アドバイザーの支援を受けながら問題作成に取り組んでいた。問題作成に当たり、調査問題を解くことで、どのような力が求められているのか再確認し、授業改善に役立てていた。
- 訪問した中学校では、教科の枠を越えて、全教職員が課題に基づいて協議をしていた。授業研究会の様子から、学力向上アドバイザーと先生方との関係が良好であることが分かった。
- 学力向上アドバイザーの訪問で、全教職員の意識が高めることができた。学力向上改善プランの具体化を図るためにも、今後も継続した支援を求める。

(2) 調査結果に基づく支援内容について

- パワーアップシートをダウンロードできるシステムの構築はありがたい。各クラスの進度に応じて活用することができる。パワーアップシート活用後のアドバイスをいただくとありがたい。
- パワーアップ講座において、先生方が実際に問題を解くことで、今、どのような学力が求められているのかを再確認することができ、授業改善につなげることができた。次年度も本講座の開催を希望する。
- 保護者リーフレットは、視覚的に分かりやすく、保護者が読みたくなる資料である。今後、PTAでも積極的に周知を図っていきたい。
- 教師や保護者に対して、よい資料が作成され、配布されている。今後は、これらの資料の活用状況を確認し、資料の在り方等について検討していく必要がある。

(3) その他

- 小学校での「子どもが学ぶ楽しさを実感しているか」「学習を好きになっているか」などの学習意欲が中学校、高校の学習につながっている。子どもと向き合う時間を確保しながら、学業指導を充実させ教師の授業力の向上を目指していくことが大切である。調査結果に一喜一憂するのではなく、長い目で学ぶ楽しさを実感させられるよう取組を行っていくべきである。

6 委員長の総括

本委員会では、各委員から様々な立場から本事業に関する施策等について意見をいただいた。本事業は平成26年度から実施されており、各学校が学習指導に関わる検証改善サイクルの構築・運用を図り、積極的に授業改善に取り組む気運が高まりつつあるとの意見が出された。一方で、各学校の意欲的な取組が、調査結果等に十分に現れていない状況が見られるとの意見も出された。今後とも、県教育委員会は、児童生徒一人一人の学力向上に向けて、市町教育委員会とより一層の連携を図りとともに、本事業に関わる

施策の実効性を高めて行ってほしい。